

第 四 次  
柏市芸術文化振興計画

平成28年度～平成32年度

柏市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	
1	計画の背景	2
2	計画の期間及び性格	3
3	計画の位置づけ	3
	(1)「柏市第五次総合計画」における施策	
	(2)「柏市教育行政重点化方針」における施策	
II	計画の基本的な考え方	
1	文化振興の担い手	4
2	文化振興の重点項目	5
	(1)市民の芸術文化活動の支援	
	(2)次世代を担う人材の育成	
	(3)柏らしさの創出・演出	
3	施策の体系	6
	施策体系図	7
III	施策展開	
1	市民文化活動の活性化	8
2	柏市ゆかりの文化資源の維持・活用	9
3	人材の育成	10
4	文化振興のための環境づくり	11
5	文化情報の収集と活用	13
IV	重点施策	
	音楽の街かしわの創出(吹奏楽を活かしたまちづくり)	14
	文化振興審議会 審議経過	15
	柏市文化振興審議会委員名簿	16

# I はじめに

## 1 計画の背景

本市の芸術文化振興施策を円滑かつ効率的に実施するものとして、平成12年度に「柏市芸術文化振興計画」を策定し、その後、平成17年度に、第二次計画、平成23年度に第三次計画と2回の見直しを行い、柏市文化の振興、柏らしさあふれる文化の創出に取り組んでまいりました。

都心からもほど近く、ベッドタウンとして発展してきた柏市では、市内各地で市民による芸術文化活動が行われ、吹奏楽など柏の強みを活かした文化事業が行われ、市内外における「柏らしさあふれる文化」のイメージも徐々に定着しつつあります。そして文化活動を積極的に行う市民からは柏市独自の文化の確立と、今後も継続的に文化活動が行われることが期待されております。また、「柏らしさあふれる文化」の確立はこれからのまちづくりの観点からも、シビックプライド（※）の醸成に繋がること大いに期待できるという点からも重要な要素と考えられています。

しかし、その一方、市民意識調査などからは市民が柏市の文化活動の活性化に対してはまだ満足しきれていないこと、市内でどのような芸術文化活動が展開されているか理解が十分に得られていないことを窺い知ることができます。一人でも多くの市民が芸術文化を享受し、興味関心を持ち、心豊かに暮らしていくことができるように、行政にはより一層市民の芸術文化に関する要望に対応していくとともに、今まで以上に積極的に取り組んでいくことが求められています。

この度、「柏市芸術文化振興計画」が5年に一度の計画の見直しの年を迎えるにあたり、前計画の理念を基本的に継承しつつ、現状の課題などをとらえながら、さらなる柏市文化振興の推進を目指す取組みを体系的に整理するとともに、長期的な視点で取り組む重点項目を掲げました。

今回策定した計画をもとに、柏市は市内芸術文化活動の主役である市民と共に、より一層柏市文化の振興に邁進してまいります。

※シビックプライド（civic pride）とは、個人個人が都市（市区町村、商店街、沿線など）に抱く誇りや愛着のことです。一人ひとりが都市を構成する一員であるという当事者意識を持って自発的に街づくりに参加すること、都市をより良いものにするための取組みに積極的に関わることが大切であると考えます。

## 2 計画の期間及び性格

本計画は、平成28年度から平成32年度の5年間の計画の対象としています。「第三次計画」からの改定にあたっては、前計画の成果や基本的な考え方を継承しつつ、新たな課題や市民ニーズに対応する内容を反映いたしました。

また、本計画は、「第五次総合計画」における文化振興施策のうち芸術文化関連の内容を具体化するものとして位置づけられています。

## 3 計画の位置付け

柏市芸術文化振興計画の策定にあたっては、上位計画である柏市第五次総合計画との整合性に留意するとともに、その推進にあたっては、他の関連する個別計画等との連携を図ります。

### (1)「柏市第五次総合計画」

柏市ではまちづくりの基本となるものとして、「柏市第五次総合計画」を策定しています。この計画は「基本構想」「基本計画」からなる二層構成となっています。

柏市第五次総合計画における、文化振興に関する部分は以下の通りとなります。

施策	取組	事業
誇りの持てる文化の醸成	柏らしい文化活動の発展	※音楽の街かしわの創出（吹奏楽を活かすまちづくり）
		柏市ゆかりの文化資源の維持・活用
		市民の文化活動の支援

※重点事業

### (2)「柏市教育行政重点化方針」

教育委員会では「柏市教育行政重点化方針」を毎年掲げこれに基づき各種事業展開をしてきました。この中で、文化に関する記述において「柏市芸術文化振興計画」に沿った施策を展開するとしています。

計画に関する進捗については、毎年行う「教育に関する事務の点検と評価」を通して定期的な確認を行い、継続的に改善に取り組んでいます。

## 計画の基本的な考え方

---

---

### 1 文化振興の担い手

市の文化振興を行ううえでは市民をはじめ、市内で芸術文化活動を行う団体、NPO、ボランティア団体等、そして行政などの文化振興の担い手が、それぞれの役割を果たしながら、互いに連携を図っていくことが重要であり、相互がうまく連携しながら事業展開することにより、より大きな効果がもたらされることが期待されます。

#### (1)市民 —市の芸術文化活動の主役として—

市内での日々の暮らしの中で、文化芸術に触れ合い、創造、鑑賞、発表の機会を得ることは市民一人一人の願いであり、また権利でもあります。また、市民なしには市内文化の振興は実現しません。

市民には、文化芸術への関心を高め、その重要性を認識しながら、文化芸術活動の主役として、文化芸術に親しみ、本市の文化を振興していく役割が期待されます。

#### (2)芸術文化団体等 —多様な活動主体による文化振興—

本市で行われている芸術文化活動は、学校関係を含めた芸術文化団体、NPO、ボランティアなど多様な活動主体によって担われています。

これらの活動主体は、個々に独自の芸術文化活動を展開し、さらに様々な団体等と連携することにより、本市の文化振興の推進母体として大きな役割を果たしています。

昨今では公共施設への指定管理者制度の導入なども進んでおり、公共施設の管理運営を通して、指定管理者のような事業者が文化振興に参画できる仕組みづくりも行われています。

こうした様々な活動主体には、多様で主体的な芸術文化活動や、互いの交流・連携を通して、本市の文化振興を牽引していくことが期待されます。

#### (3)市 —行政の果たすべき役割—

市は、市民が芸術文化を身近に感じ、親しめる機会を提供するとともに、柏市独自の文化を内外に発信していく役割を担います。

そのために、市内で開催される文化関連事業について情報を収集し、一人でも

多くの市民に発信し、柏市文化振興に対する興味関心を惹くように積極的に活動するとともに、市民や多様な活動主体が行う文化芸術活動の自主性を尊重し、これらの活動が行われやすい環境づくりのため、場や機会の提供、活動への支援、多様な活動主体との連携や協働の促進など、市民が主役の文化芸術活動を支援してまいります。

## 2 文化振興の重点項目

年齢や生活環境、現在芸術文化活動に携わっているかを問わず、全ての市民が、芸術文化を享受し、文化的な生活を送ることができるように、本計画では次の3つの項目を本市の芸術文化振興の重点項目に掲げて具体的な文化振興施策に取り組んでまいります。

### (1)市民の芸術文化活動の支援

柏市内には音楽、演劇、美術、書道をはじめとする様々なジャンルの芸術家、団体、さらにはその関係者が多数在住しています。

これらの芸術文化活動者たちの市に根付いた文化活動が円滑に行われる環境が整い、芸術文化活動が活性化することは、市民の芸術文化に触れ合う機会が増すことにも繋がり、市内芸術文化の裾野が広がることも期待できます。

市内文化のさらなる振興のために、後援ほか様々な形での文化活動の支援や文化活動を行いやすい環境の整備を行ってまいります。

### (2)次世代を担う人材の育成

柏市内で継続的に文化活動が行われていくためには、現在文化資源として認識されている芸術家や団体、美術作品等を厚く保護・支援していくことが重要です。また、児童生徒、若手アーティストなどを含めた次世代を担う人材を育成していくことも不可欠となります。

多感な時期から文化に触れる機会を提供し、文化への興味関心を深め、将来柏市で文化活動を行う人材となるための土台を作るとともに、柏市ゆかりの若手芸術家を発掘し、活動・活躍の機会を提供します。

### (3)柏らしさの創出・演出

「柏らしさあふれる文化」の確立は本市の文化的イメージの向上のみならず、市への愛着を高め、まちづくりという観点からも重要な要素と考えられています。

柏には市立柏高校吹奏楽部をはじめとする全国規模の吹奏楽コンクールにおける上位入賞校や、柏駅周辺で活動を行うストリートミュージシャン、駅周辺アート関連イベントなどで造形美術作品を公開する若手アーティストなど、柏市独自の文化や、柏らしさを代表する存在が既にいくつか存在しております。

「柏らしさ」を代表する団体等と行政が連携を図って事業を行うことは市独自の文化振興を行ううえでは不可欠であり、さらに、常に市内芸術文化活動に関する状況を把握するために情報収集に努めながら、ジャンルを問わずこれから新たに柏らしさの象徴となる存在などを発掘し、広く知らせていくことが求められています。

### 3 施策の体系

柏市文化振興の重点項目に掲げた3つの項目を具体的に実現するために、5つの施策を掲げて、事業展開を行ってまいります。また、柏市文化振興、そして柏市の活性化に繋がる重点施策を掲げて、特に重点的に取り組んでまいります。

各施策の詳細につきましては次章以降にて紹介いたします。また、重点項目や各施策の関係につきましては次図にて示しております。



## 第四次柏市芸術文化振興計画 施策体系図

### 柏市芸術文化振興における3つの重点項目

1. 市民の芸術文化活動の支援
2. 次世代を担う人材の育成
3. 柏らしさの創出・演出

### 【重点項目実現のための施策展開】

#### ①市民文化活動の活性化

##### ＜施策展開のための取組み＞

- ・市民参加型事業の支援
- ・市内芸術文化団体との連携

#### ②柏市ゆかりの文化資源の維持・活用

##### ＜施策展開のための取組み＞

- ・造形(展示)芸術の公開
- ・上演(舞台)芸術の活躍の場の提供
- ・文化資源の活用による地域づくり

#### ⑤情報収集・活用(発信)

#### ③人材の育成

##### ＜施策展開のための取組＞

- ・柏市ゆかりの芸術家等の協力によるワークショップの実施
- ・中学校音楽鑑賞教室の実施
- ・若手アーティスト等への発表の場の提供

#### ④文化振興のための環境づくり

##### ＜施策展開のための取組み＞

- ・文化芸術に接する機会の拡充
- ・文化施設の活用

### 上記施策に加え、次の重点施策を展開します

音楽の街かしわの創出  
(吹奏楽を活かしたまちづくり)

- ##### ＜施策展開のための取組み＞
- ・音楽ワークショップの開催
  - ・音楽月間の開催



## Ⅲ 施策展開

### 1 市民文化活動の活性化

市民の文化活動を活性化することは、活動を行うものだけが充足感を得られるのみならず、地域の活性化や、魅力あるまちづくりに繋がり、文化振興以外の側面にも大きな効果をもたらします。

文化活動を行ううえでは金銭的な支援や、発表の場の提供など支援制度の整備が不可欠となります。柏市文化祭の開催や、市民ギャラリーなど発表の場を継続的に提供することにより、文化活動を活性化してまいります。

市民文化活動の活性化のための具体的な取組みは以下の通りです。

#### (1) 市民参加型事業の支援

かじわ市民芸術祭、柏市民コンサートをはじめとした、公共性が高く、多くの市民が参加する市民参加型事業と共催するなどの支援を行い、市民の文化振興への参画意識を醸成していきます。

また、柏市文化祭の開催を通して、市民に芸術文化活動の発表及び観賞の場を提供してまいります。

#### (2) 柏市文化連盟をはじめとした市内芸術文化団体との連携

柏市文化連盟には、幅広いジャンルの芸術文化団体が所属し、それぞれの団体内で活発な活動が行われています。昨今、福祉施設等から利用者が施設内にいながらも芸術文化に親しむ機会を提供してほしいと要望を受けることなどが増加していますが、このような要望などに対して文化連盟所属団体等に協力を求め、様々な場所において文化事業が行われるための仲立ちを行います。

また、市民の芸術文化活動の多様化に伴い、幅広い分野、様々な年齢構成の芸術文化団体が発足し、市内で活躍しています。行政はこれらの市民活動に関する情報を積極的に収集し、市内文化振興のために連携を図ったり、市民ニーズに応じて情報提供を行ってまいります。

## 2 柏市ゆかりの文化資源の維持・活用

柏市には造形（展示）、上演（舞台）芸術のほか、茶道、俳句などの伝統的な活動、現代アートを含む新たな芸術表現活動など、その他枚挙にいとまがないほどの芸術文化活動団体や個人、有形・無形の芸術文化に関するものが存在します。これらは一様に、柏市芸術文化振興のうえで大事な文化資源であると認識しており、今後も維持・存続及び活用していくための取組みが求められますが、その中でも以下の三つの観点において特に積極的に取り組んでいきます。また、ジャンルを問わず、新たな柏市ゆかりの文化資源の発掘に力を注いでまいります。

### (1) 造形(展示)芸術(美術作品、美術作家等)

柏市には現存作家、物故作家を含め多くの地元根付いた活動を行う美術作家が存在します。作家及び作品を広く市民に知らせることは、市の文化の振興のみならず、シビックプライド醸成にも繋がるため、寄贈作品を含めた、柏市ゆかりの美術作家を紹介する機会を継続的に設けてまいります。

また、約800点に及ぶ市への寄贈作品として管理しているなかで、故砂川七郎氏から寄贈を受けた人間国宝・芹沢銈介と板画家・棟方志功作品約600点は内外からも高い評価を受けており、今後も保存・活用に力を注いでまいります。

なお、市への美術品の寄贈受け入れにあたっては、平成10年に公共性と適正化を確保するため「柏市美術品等収集検討会」を設け、受け入れの審査を行うこととしています。

### (2) 上演(舞台)芸術(舞台芸術関係団体及び個人)

柏市には市立柏高校吹奏楽部をはじめとする、国内有数のレベルの吹奏楽部が活動するほか、多くのプロの音楽家などが市内外を拠点に活躍をしています。

現在活躍中の音楽家等を把握するとともに、行政の主催事業の出演者として協力を得るなど、積極的に市内で活躍する機会を提供し、市民により親しまれる存在となるためのきっかけ作りを行います。

### (3) 文化資源の活用による地域づくり

市民が柏市に誇りを持てる、魅力的な地域づくりを行うためには、文化資源を活用し、市民に身近な存在として感じてもらうことが有効です。

地域イベントや、学校関連事業、音楽ホールや美術品展示会場以外で市民が文化資源を身近に感じることができるような事業の開催や、行政以外の事業主催者に文化資源との仲立ちを行うなどの働きかけを行います。

### 3 人材の育成

文化振興の重点項目に掲げているように、柏市文化振興のためには次世代を担う文化資源（人材）の育成は不可欠となります。

ワークショップ型事業、鑑賞型事業のほか、芸術文化発表の機会を提供することも人材育成の一環であると考え、以下のような事業を行ってまいります。

#### **(1)「かしわ塾」をはじめとした柏市ゆかりの芸術家・文化団体の協力によるワークショップの開催**

各種芸術分野のワークショップに参加し、芸術表現の体験をすることは次世代を担う人材の育成という意味合いでは非常に有用なものとなります。

平成15年以降、市立柏高校吹奏楽部員及び顧問教諭の協力のもと、市内の小・中学校の吹奏楽部、音楽部、管弦楽部に所属する小中学生を公募し、管・打楽器の練習方法を学び、その成果を発表するワークショップ「かしわ塾」を実施しています。

現在は器楽のワークショップ開催が主軸となっていますが、多岐に亘る芸術文化分野で活躍する人材を育成するために、今後も柏市ゆかりの芸術家・文化団体の協力のもと、美術作品作成なども含めた幅広い芸術文化分野のワークショップを展開してまいります。

#### **(2)中学校音楽鑑賞教室**

県内で活躍するプロオーケストラを市内の各中学校に招聘し、クラシック音楽を鑑賞するものです。市内の中学生は在学中に一度は生のクラシック音楽を体験することができます。これにより音楽に対する新たな、あるいは潜在的な興味を引き起こすきっかけとします。

#### **(3)市内在住若手アーティスト等への発表の場の提供**

市内には幅広いジャンルにおいて多くの将来を有望視されるアーティストが活動しており、柏市にとって大切な財産です。これらのアーティストの市民への周知と、ステップアップの機会とするため、積極的にアーティストの発掘を行い旧吉田家住宅土間コンサート、柏市民ギャラリーでの作品展示をはじめとした、発表の場を提供するという形での支援をし、広い意味でのアーティスト育成を行います。

各企画の実施にあたっては、協力アーティストを広く市民に知らせる機会となるため、効果的な広報宣伝方法を工夫するなど、アーティストをプロデュースす

るという意識を持つことが重要であると考えております。

## 4 文化振興のための環境づくり

文化振興を行ううえでは、市民一人ひとりが芸術文化活動を行い、また気軽に触れ合うことができる場所の整備及び活用が不可欠になります。公共施設をはじめとした、既に芸術文化発表の場として活用されている場所のみでなく、商業施設や医療機関などを活用した事業展開は文化振興のためには有用と言えるでしょう。市民が市内の至るところで芸術文化を感じることができるよう、場所の活用、そして機会<sup>1</sup>の拡充という面で文化振興のための環境づくりに取り組んでまいります。

### (1)文化芸術に接する機会の拡充

文化振興のためには、元から文化活動を行ったり、文化に興味があり、積極的に芸術文化鑑賞の場に足を運ぶ市民のみならず、普段積極的に芸術文化に触れ合うことのない市民の興味・関心を引き、文化愛好者となるための機会を設けることも重要となります。文化施設や保健施設でのアウトリーチコンサート（※）を今後も継続的に実施するとともに、駅周辺や市内商業施設等市民が自然に集まる場所を活用しながら、幅広いジャンルの芸術文化活動を身近に楽しむことのできる事業を実施してまいりたいと考えております。

※アウトリーチコンサート：公共機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービスのひとつで、例えば公共団体等がアーティストを地域の学校や福祉施設に派遣してワークショップやミニコンサートなどを行う普及活動をいいます。英語名詞のアウトリーチは手を伸ばすことを意味します。一方的に観客を待つのではなく、アーティスト側から市民の生活の場に積極的に入り込むことによって、芸術に関心を持つ層を増やすことを目的とします。

### (2)文化施設の活用

#### ①柏市民ギャラリー

市民の芸術文化作品発表の場として、昭和54年に柏駅直結の商業施設の8階に開館以降、市民に親しまれてきた柏市民ギャラリーは、平成28年5月、柏駅東口再開発ビル3階の柏市民交流センターの施設のひとつとして移転します。移転後の施設には従前施設に設置されていなかった壁面ガラスケースの設置など、施設全体としての利便性が向上します。移転後の施設運営については指定管理業者によって行われますが、引き続き市民の作品発表の

場、そして鑑賞の場を提供してまいります。また、指定管理者制度移行後も、市民に親しまれる施設でありつづけるよう、指定管理業者と連携を図りながら施設の周知宣伝及び自主事業の実施に力を注ぎ、特に自主事業にあたっては施設の特性を十分に活かし、従前の施設では展示することができなかった、美術作品として世間的評価が高い作品などを含めた企画展を年1回程度企画し、市内外に広くPRをしてまいります。

## ②柏市郷土資料展示室

平成20年度に沼南庁舎に開館した柏市郷土資料展示室では、文化課で所蔵している古文書をはじめとする歴史資料、発掘調査による埋蔵文化財資料、砂川コレクション（※）の公開を開始しました。現在年3回の企画展を行っています。

資料や作品の保管、維持管理と収集活動の充実を図り、博物館施設と同等の内容を目指していきます。また、次世代の文化振興を担う、市内小中学生などの来館についても配慮し、人材育成という面でも活用してまいります。

展示企画にあたっては、所蔵作品を活かしつつ、全国の芹沢銈介作品、棟方志功作品所蔵の美術施設と連携を図り、作品の借用を行いながら、市民が企画展ごとに足を運びたくなるよう魅力的な企画展示を開催するとともに、施設来場者を増加させ、一人でも多くの市民に文化に親しんでもらうために、企画展宣伝と併せて、施設そのものの周知活動を積極的に行ってまいります。

※故砂川七郎氏が収集した芹沢銈介作品627点、棟方志功作品28点から成り、平成7年に柏市に寄贈されました。

## ③柏市民文化会館及びアミューゼ柏

柏市民文化会館及びアミューゼ柏は開館時から市民の芸術文化活動の場として活用されており、また現在は指定管理者による管理運営が行われ、様々な自主事業が展開されています。市はこれらのホールや美術品展示機能を有する施設を柏市文化祭、柏市民コンサート、かしわ市民芸術祭など様々な市内団体との共催での文化事業の会場としても活用しております。

今後も継続的に多くの市民の来場が期待される事業の開催場所として活用を図るとともに、各施設の指定管理者との連携を図り、効果的な芸術文化振興に努めてまいります。

## 5 文化情報の収集と活用

現在市内で開催される文化事業については、各実施会場のイベント案内及び施設HPに掲載されるのみで、行政での情報の把握は行われていない状況にあります。市の文化振興を行う際、これらの情報を把握することは柏市ゆかりの芸術家発掘などの観点からも重要であり、今後さらなる文化振興を行ううえでは不可欠であると考えられます。

また、文化活動が行われるなかでは、芸術家といった芸術文化を提供してくれる存在のほか、それを享受する鑑賞者の存在が不可欠となります。柏市文化振興を推進するうえでは、現在の柏市の文化に興味関心を十分に持つことができていない市民に、市内でどのような文化事業が展開され、どのような柏市ゆかりの文化資源があるかを伝えていく必要があります。

市民の年代や、生活形態などにより、最適な情報発信の方法は異なりますが、市が携わる文化事業をより広く周知するためにはどうしたらいいのか常に調査研究し、広報誌、市のHP、FACEBOOKをはじめとした様々な情報発信手段を活用しながら情報提供に努め、市民の柏市文化振興に対する興味関心を惹くように積極的に活動いたします。

また、収集した情報を有効に活用し、柏市ゆかりの芸術家との交流の機会とし、人材育成事業に関連付けてまいります。

## IV 重点施策

### 音楽の街かしわの創出（吹奏楽を活かしたまちづくり）

市立柏高校吹奏楽部を代表とする、市内吹奏楽のレベルは全国レベルであり、これらはシビックプライドにも繋がる、柏市として今後の文化振興のみならず、まちづくりの観点でも重要な要素といえます。

この吹奏楽を軸に、音楽の街かしわを創出するための事業を展開し、柏市の吹奏楽の水準の高さを内外に広く知らしめるとともに、まちの活性化に繋がります。具体的には以下のような事業を展開させる予定です。

#### (1) 音楽ワークショップの開催

現在市内小中学校吹奏楽部児童生徒を対象とした、吹奏楽ワークショップ（かしわ塾）を開催していますが、今後は大人も参加することができるワークショップを開催し、幅広い世代が演奏者として音楽を楽しめる機会を提供し、さらなる市内音楽活動の活性化を図ります。

#### (2) 音楽月間の開催

市内の各駅周辺や、保健関係施設、商業施設など市内のホールに限らない様々な場所で、その場を訪れた人に気軽に音楽を楽しむ機会を提供する、「音楽の街かしわ」にふさわしい事業を短期集中で開催する「音楽月間」の開催を目指します。地元根付いた活動を行うアーティストへの活躍の場の提供と、市民への紹介という意味合いも込め、出演者は柏市ゆかりのアーティストを中心に考えていますが、在外アーティストとのコラボレーション等も検討してまいります。



## 柏市文化振興審議会 審議経過

第一回会議：平成27年6月26日（金）

- ・文化課事業報告
- ・柏市民ギャラリーについて
- 「第四次柏市芸術文化振興計画」について

第二回会議：8月31日（月）

- ・「第四次柏市芸術文化振興計画」について

第三回会議：10月30日（金）

- ・「第四次柏市芸術文化振興計画」について

第四回会議：12月22日（火）

- ・「第四次柏市芸術文化振興計画」について

第五回会議：平成28年2月9日（火）

- ・「第四次柏市芸術文化振興計画」について

・平成28年2月15日号

広報「かしわ」、Webにて、「第四次柏市芸術文化振興計画」（案）  
パブリックコメントを募集

第六回会議：3月23日（水）

「第四次柏市芸術文化振興計画」の答申

柏市文化振興審議会委員名簿

平成 28 年 3 月 31 日 現在

氏 名	所属又は役職
田 中 勇 二	市山流柏会代表
鈴 木 將 勝	柏市文化連盟会長
乾 靖 子	サークルあんだんて代表
亀 岡 浩 美	JOBAN アートラインかしわ事務局 長
飯 森 豊 水	開智国際大学教授
香 島 ひで子	新槐樹社柏支部長
駒 井 仁南子	博物館学芸員 柏プラネタリウム研究会代表
日比谷 伸 子	柏子どもの文化連絡会会長
堀 良 慶	柏わたくし美術館館長
手 塚 ナツ子	柏少年少女合唱団代表
風 澤 俊 一	JOBAN アートラインかしわディレク ター

(順不同)

任期：平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

#### 第四次柏市芸術文化振興計画

---

発行年月日 平成28年 4月 1日

編 集 柏市文化振興審議会  
生涯学習部文化課

発 行 柏市教育委員会

〒277-8503 千葉県柏市大島田4-8-1

TEL 04-7191-7403 FAX 04-7191-8484

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>